

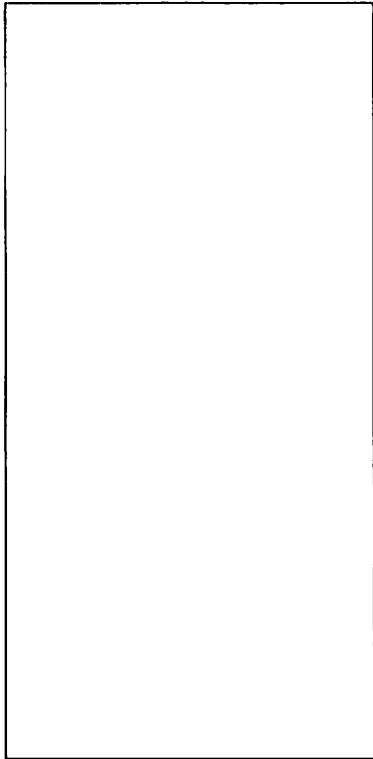
すがた  
姿

自分の姿はあまりわからないですね。もちろん、

鏡の前に立って見れば、自分の姿を見ることができ

ますが、いつも見ているわけにはいきませんね。自分

の姿の特徴について、つぎの空白に書いて下さい。



神さまの姿はたいいの場合、私たちにわかるよ

うな姿で表わされているのですが、私たちはほとん

どそれに気づかないで見過ぎてしまっています。普

段の生活の中で、私たちは人と出会ったり、いろん

な出来事を体験しています。その時は別に何とも思っ

ていなくても、後から振り返って見て、あの時神さま

が私に呼びかけていたに違いないと思う事がよくあ

ります。  
アブラハムが自分の故郷を捨ててカナン地方へ出

かけて行ったのも、同じような事だったに違いありま

せん。後になって考えた時に、あの時神さまの呼び

かけがあつて、それに答えてアブラハムが出かけて行  
つた事になります。同じように私たちの体験を聖書  
のように書いてみると、アブラハムの物語と同じよ  
うな事を書く事ができるはずです。

イエスさまの弟子たちの体験も同じようだったと  
思います。

イエスさまの変容物語は、別の見方からすると、復  
活の出来事としても受けとめられます。つまり、イエ  
スさまが十字架にかけられて殺される前に、弟子たち  
とともに過ぎされた生活の中に、すでにイエスさまの

復活の栄光の姿があつたのです。私たちは今も復活  
したイエスさまと出会う事ができます。ただ、私た  
ちが気づかないばかりに、知らずに過ぎしてしま  
う事がよくあります。いつ、どこで復活されたイエスさ  
まと出会う事ができるか、注意深く見つめていく事が  
必要です。

